JTUC-aomori

れんごう青森

No.423　2025年５月

発行　日本労働組合総連合会
青森県連合会（連合青森）
発行人　中野　隼
青森市本町３丁目３の11
青森県労働福祉会館内
TEL (017)735－0551
FAX (017)735－0553
URL http://aomori.jtuc-rengo.jp/
月１回発行　１部10円
（組合員の購読料は会費の中に含む）

第９６回メーデー青森県中央祭典

働く者の祭典、第96回メーデーが４月19日（土）及び26日（土）に県内６ヶ所で開催され、「次代につなぐ　平和の願い！みんなでつくろう　支え合う安心社会と確かな未来を！」をスローガンに、約2,700名もの組合員やその家族が集い、労働者の生活向上に向け、連帯し取り組もうと気勢を上げた。

そのうち、青森県中央祭典は４月26日（土）に青森市の合浦公園東門広場で開催。桜花咲き誇る中、約800名もの組合員やその家族が参加した。

主催者あいさつに立った連合青森の塩谷会長は2025春季生活闘争と政治情勢の２点に触れ、「中央での賃上げの流れとして額・率で昨年を上回り、県内においても労使交渉の結果賃上げの流れが出てきており、この勢いを継続しよう」「今年の７月には第27回参議院議員選挙が控えており、与党改選過半数割れを必達目標に重大決戦として取り組みを進めていくこととし、連合青森としてもいち早く候補を擁立し、これまでの政治を替え、かなわなかった政策を実現するため、候補者の当選に向けてご支援・ご協力をお願いする」と呼びかけた。

その後、奥田忠雄副知事、西秀記青森市長、升田世喜男立憲民主党青森県連代表代行、金濱亨国民民主党青森県連代表、大澤祥宏青森県民社協会会長が各々の立場から激励と連帯の挨拶を述べた。

次にアトラクション実行委員会によるスローガンの発表、続いて東青地協小泉副議長の提起により「今年は戦後80年。働くものの雇用やくらしを守るとともに、核兵器の廃絶と世界の恒久平和の実現をめざし平和運動を力強く進めていく」としたメーデー宣言が採択され、団結ガンバローを三唱し、第１部を締めくくった。

第２部のアトラクションでは東日本大震災被災地の復興支援にむけた被災県物産品や人気家電、また各事業団体や各産別から提供いただいた賞品の抽選会が行われ、成功裡に終わった。

塩谷会長冒頭挨拶

参加者全員一丸となりガンバロー三唱

各地協メーデーの様子

上十三地協（４／19）

三八地協（４／26）

下北地協（４／26）

津軽地協（４／26）

西北五地協（４／26）

はたらくのそばで、ともに歩む

第96回メーデー各地協開催状況				
主　　催	日　　時	場　　所	参加人数	デモ
連合青森・東青地協	４月26日（土）10時00分	青森市「合浦公園東門側広場」	800	－
三八地協	４月26日（土）10時30分	八戸市「市庁前市民広場」	642	有
津軽地協	４月26日（土）10時00分	弘前公園「レクリエーション広場」	600	－
上十三地協	４月19日（土）10時30分	十和田市「陸上競技場」	400	－
西北五地協	４月26日（土）10時30分	五所川原市「中央公民館」	114	－
下北地協	４月26日（土）11時00分	むつ市「ホテルニューグリーン」	101	－

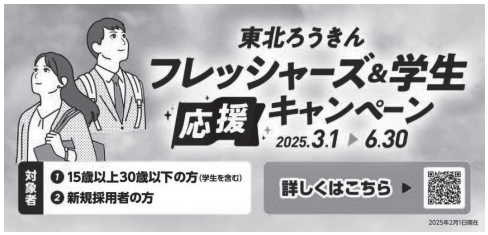
2025年５月行動予定

５月15日現在

○５月18日（日）10時30分　五所川原市エルム北側交差点
「連合アクション街頭行動」
○５月18日（日）14時00分　弘前市CiiNaCiiNa弘前店前
「連合アクション街頭行動」
○５月24日（土）11時00分　青森市CiiNaCiiNa青森店前
「連合アクション街頭行動」
○５月28日（水）13時30分　県労働福祉会館
「第４回ジェンダー平等推進委員会」

2025年６月行動予定

○６月９日（月）13時30分　県労働福祉会館
連合青森「第15回事務局会議」
○６月10日（火）～11日（水）10時00分
「全国一斉集中労働相談ホットライン」



4/18（第2次集約）時点　2025春季生活闘争回答集計

賃上げは昨年を上回る４％半ばで推移

連合青森は４月18日時点の2025春季生活闘争にかかわる第２次集計を行った。その結果、この時点で回答を引き出した59組合の賃上げ加重平均は、額で13,015円（昨年同時期比＋2,951円）、率で4.66％（同＋0.51％）となった。いずれも昨年を上回っており、大手企業の賃上げの流れを引き継ぎ、県内の先行する組合が「賃上げの定着」をめざし粘り強く交渉を重ねた結果と言える。

一方、今後交渉を迎える組合も多く、連合青森は５月14日の第３回闘争委員会で「妥結歯止め水準」を設定し、５月末までを今春季生活闘争の決着最終ゾーンとすることを確認。先行組合の流れをつなぎながら、引き続き、未解決組合を最大限サポートしていくことにしてる。

2025春季生活闘争　第２次集計結果（2025/4/18時点）

【全　体】（民間23産別・174組合／21,056人）

年　度	要求組合数	要求組合率	要求額・率（加重）		妥結組合数	妥結組合率/要求組合	妥結額・率（加重）	
			額	率			額	率
2025年	**88組合**	**50.57％**	**15,821円**	**5.95％**	**59組合**	**67.05％**	**13,015円**	**4.66％**
2024年	92組合	50.83％	12,959円	5.86％	61組合	66.30％	10,064円	4.15％
前年比	▲ 4組合	▲ 0.26ポイント	2,862円	0.09ポイント	▲ 2組合	0.75ポイント	2,951円	0.51ポイント

【地場労組】（14産別・104組合／10,836人）

年　度	要求組合数	要求組合率	要求額・率（加重）		妥結組合数	妥結組合率/要求組合	妥結額・率（加重）	
			額	率			額	率
2025年	**49組合**	**47.12％**	**16,090円**	**6.16％**	**30組合**	**61.22％**	**11,374円**	**4.53％**
2024年	53組合	49.07％	12,499円	6.09％	31組合	58.49％	9,811円	4.13％
前年比	▲ 4組合	▲ 1.95ポイント	3,591円	0.07ポイント	▲ 1組合	2.73ポイント	1,563円	0.40ポイント

「連合アクション」街宣行動を実施

～地場労組2025春季生活闘争をバックアップ～

みんなでつくろう！賃上げがあたりまえの社会

連合青森は、４月から５月にかけて交渉に入る地場中小組合をバックアップするため、県内６地域で「連合アクション街宣行動」を行うこと決め、４月19日には八戸市・ポータルミュージアム「はっち」前で、道行く市民に賃上げの必要性と定着を訴えた。街宣には、立憲民主党県連の田名部匡代代表や県民者協会の大澤祥宏会長らも駆けつけ、労働者の賃上げで県内経済の活性化につなげようと呼びかけた。

この連合アクションは、例年、大手企業の春闘回答が出され県内の先行組合が妥結した後のこの時期に、賃上げの機運が一旦落ち着く傾向にあり、この取り組みを通じてさらなる機運醸成を図ることが狙い。同日には十和田市、５月10日にはむつ市でも同様の街宣行動が行われた。

街頭で賃上げ定着を訴えた（４／19＝八戸市「はっち」前

７月投開票予定　第27回参議院議員選挙

福士（ふくし）ますみ氏を推薦決定

連合青森は、第13回執行委員会（５月14日）で、７月投開票予定の第27回参議院議員選挙に、福士ますみ氏（立憲民主党　参議院議員選挙区第２総支部長）を推薦することを決定。同日、福士氏本人に推薦状を手交した。

また、執行委員会終了後ただちに総合選挙対策会議を開催し、青森選挙区「福士ますみ」と各構成組織の比例代表候補者の必勝に向けた当面の取り組みについて確認した。

投開票予定日までおよそ２ヵ月、連合が進める政策・制度要求前進のためには議員の存在は極めて大きい。

連合青森は、短期集中の取り組みを徹底する。

生活者目線の政治へ！

創る！

中小企業の活力を
農林水産業の基盤を
予防医療の提供体制を

進める！

若者の地方回帰を
教育格差の解消を
ジェンダー平等を

支える！

物価高に負けない家計を
暮らしの安心を
育児と仕事の両立を

福士　珠美（ふくし　ますみ）

1965年 五所川原町金木町生まれ、1977年 東北町立寒水小学校卒業、1980年 平内町立小湊中学校卒業、1983年 青森県立青森高等学校卒業、1987年 日本大学法学部新聞学科卒業、1987年 株式会社青森テレビ入社、2020年 株式会社BLUE LINK PROJECT代表取締役